交通安全日日ナロ

冬の交通安全運動

期別運動の視点

凍結路面でのスリップ事故の防止等を図るための活動等を推進

- ●高齢歩行者の保護
- ●スリップ事故の防止
- ●飲酒運転の根絶

の~んびりいこうや北海道

11月11日(月)~11月20日(水)



夕暮れ時間は注意!!!

ドライバーのみなさん、日没が早まり夕方から歩行者や自転車が見えづらく交通事故の 危険性も高くなります。交通安全に対する意識を高め、目配り、気配り、思いやり、で安全運転をお願いします。

~毎月第15日は「道民交通安全の日」~

【毎日の備えが、明日へ繋がる】 ◇『首団』 『発団』 『外町』の役割できなる

災害を最小限に抑えるには、首助・共助・公助それぞれが役割を果たしていくことが大切です。

- 1. 「自助」~自分の身を自分の努力によって守ること
- 2. 「共助」~自主防災組織などを結成し、身近な人たちがお互いに助け合うこと
- 3. 「公助」~国・道・町などの公的機関による支援

このうち、「公助」のみの災害対策には限界があります。

平成23年の東日本大震災では、本来被災者を支援すべき行政機関が被災し、被災者支援が出来ませんでした。また、平成7年の阪神・淡路大震災では、地震によって倒壊した建物から救助され生き延びることが出来た人の約8割が、家族や近隣住民等によって救出され、消防、警察及び自衛隊によって救出された人は約2割との調査結果もあります。

災害から身を守るためには、自ら守る「自助」はもちろん、近隣の人々が助け合う「共助」が極めて重要です。 一方、「公助」はみなさん一人一人に迅速に支援することが難しく、また公的機関そのものが被災して機能が麻痺することもあるため、「公助」のみでの対応には限界があります。

このようなことから、みなさん自身が「自分の身は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」、「これに足りない部分を公的機関が補う」という考えを持ち、災害に備えることが必要です。

災害は突然やってきます。いざというときに適切な行動ができるように日頃からよく考えておきましょう。 毎日の備えが、明日へ繋がります。

(有料広告)



長万部町大町 ☎ 01377-2-2365

長万部町元町 🗗 01377-2-2603